



かいご げんば 介護の現場から



普段何気なく使っている言葉に「大丈夫？」と言うのがある。友達同士や仕事仲間なら、何も考えずにでもすぐに出る言葉だ。でも、ある時だけどうしてもその一言が出てこない。それは、道端や電車で困っている人がいた時だ。世界各国で毎年実施されている人助けに関する調査で、日本は全世界の中で最下位らしい。私も「大丈夫？」と手を差し伸べる事が出来ない内のひとりだ。ある時、おばあさんが赤信号なのに渡ろうとしている様に見えた。「大丈夫かな？」と思ったが声をかけられず、おばあさんの行方を見届けるしか出来なかった。車にクラクションを鳴らされながらも、無事にタクシーに乗り込み去って行ったのでよかったが、その他にも、目の不自由な人が、音が鳴らない信号機で右往左往している光景も目にする。同行援護従事者の資格を取得する際、視覚障害者の体験として、目隠しをして御堂筋を歩いた。平日でも人が多く、歩道橋の階段や道の少しの段差で躓いた経験があるにも関わらず、いざ目の当たりにすると声が出ないものだ。困っている人に「大丈夫ですか？」の一言が出てこないのは日本人特有の内弁慶と捉える向きもある。しかし、日本は親切な国と言われてきたが、案外、そうではないみたいだ。

(グループホーム共生の里：Y主任・介護福祉士)

